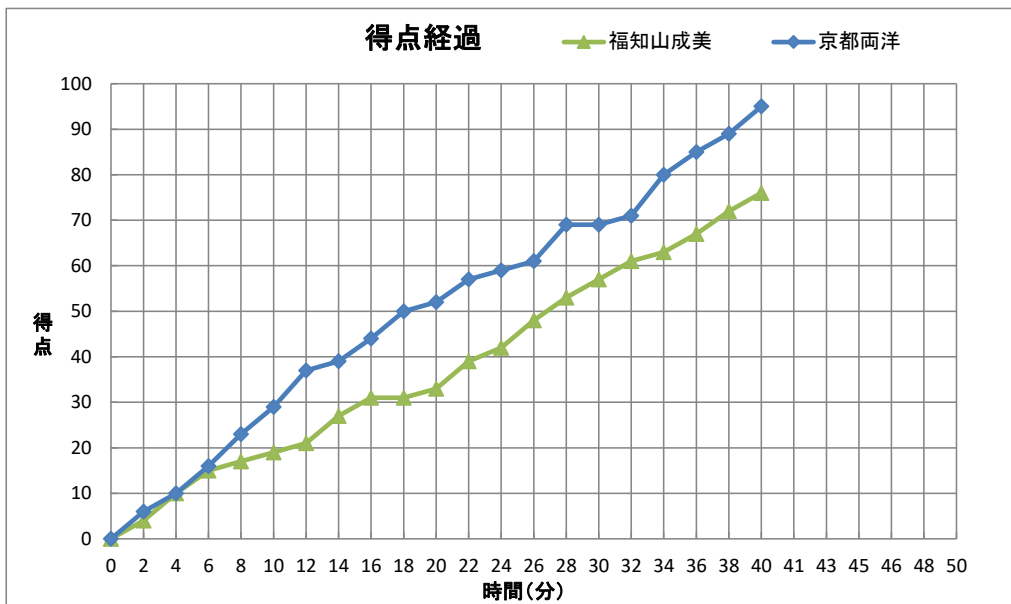




第42回京都府高等学校選手権大会 兼
第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

女子		10月29日		11:40 開始													
決勝リーグ		島津アリーナ京都		M													
福知山成美	76	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>29</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>26</td></tr> </table>	19	1st	29	14	2nd	23	24	3rd	17	19	4th	26	95	◎ 京都両洋	
19	1st	29															
14	2nd	23															
24	3rd	17															
19	4th	26															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 1	オケチエク ステファニー ウカマカ	37	0	18	1	2	1	ユクス チフェ	0	0	0	0	1				
3	前田 胡桃	-	-	-	-	-	2	杉山 心月	15	3	3	0	0				
9	小入羽 楓子	-	-	-	-	-	* 7	木谷 夢菜	33	6	6	3	3				
11	田辺 沙夏	-	-	-	-	-	8	谷口 心綾	2	0	1	0	1				
12	オラレカン ザイナ ブ オラエミ	10	0	5	0	2	10	日渡 理緒	0	0	0	0	0				
* 16	塩見 愛純	6	0	3	0	2	18	中野 有佳子	-	-	-	-	-				
22	畑 実来	-	-	-	-	-	16	井上 明梨	1	0	0	1	0				
87	井上 華乃	-	-	-	-	-	69	廣浦 杏	-	-	-	-	-				
* 20	酒井 瀬里菜	16	2	5	0	4	31	城地 あさひ	0	0	0	0	0				
23	榊 菜花	-	-	-	-	-	32	清水 泉里	0	0	0	0	0				
* 27	前川 紗季	3	1	0	0	2	* 42	木村 雫	11	0	5	1	1				
32	外川 楓華	0	0	0	0	0	* 49	西川 優月	11	0	3	5	0				
34	並川 祐妃	-	-	-	-	-	57	川田 友紀乃	0	0	0	0	0				
46	菅野 一花	-	-	-	-	-	* 68	木村 香穂	16	3	2	3	0				
* 86	川本 陽菜	4	0	2	0	3	* 77	林 英美	6	0	3	0	2				
コーチ	伊藤 久					0	コーチ	吉田 聡					0				
Aコーチ	高見 義和						Aコーチ	甲良 泰明									
合計		76	3	33	1	15	合計		95	12	23	13	8				
主審: 加藤 毅 副審: 小柿 茉智子 副審: 杉山 栄規																	



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	2:45	17:33	33:19	36:56	39:03	:	:	:	:
TeamB	:	:	32:17	39:10	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 ウインターカップ京都府予選第二戦、福知山成美と京都両洋の対戦。
 第1Q、福知山成美はハーフコートゾーンディフェンス、京都両洋はオールコートマンツーマンディフェンスで試合開始。福知山成美は#1のゴール下を中心に攻撃を展開し、対する京都両洋は速攻を軸に得点を重ねる。京都両洋が激しいディフェンスからの速攻で10対4としたところで福知山成美がタイムアウト。その後福知山成美は落ち着いて、#1のバスケットカウントや#20の3Pなどで逆転に成功する。京都両洋も#49のゴール下や#2の3Pなどで主導権を渡さない。29対19の京都両洋リードで第1Q終了。
 第2Q、先取点は京都両洋#68の3P。その後も#42の華麗なアシストから#8#7がリズムよく加点していく。福知山成美も#18のドライブや#1のゴール下で応戦するも、なかなか京都両洋の攻撃を止められない。京都両洋が速攻で点差を広げて50対31とリードを広げたところで福知山成美が2回目のタイムアウトを請求。福知山成美は京都両洋の堅い守りをなかなか崩すことができず、52対33の京都両洋リードで後半へ。
 第3Q、福知山成美は#16のドライブ、#1のゴール下で反撃を試みる。京都両洋も#7の連続得点で簡単には縮めさせない。福知山成美は#1のゴール下にボールを集めて攻撃を組み立てるが、京都両洋もゴール下に人数を集めて簡単には決めさせない。点差を徐々に福知山成美が詰めるが、京都両洋も#2#7を中心に加点していく。終盤、福知山成美が#1の得点で点差を縮め、69対57の京都両洋リードで最終Qへ。
 第4Q、福知山成美#1の得点で点差を10点とするも、京都両洋#42が落ち着いてシュートを沈める。その後#1の得点で点差が10点となったところで京都両洋がタイムアウト。その後、京都両洋#7が3Pを決めて京都両洋は落ち着きを取り戻す。京都両洋はオールコートマンツーマンからのインサイド、アウトサイドとバランスの良い攻撃で徐々にリードを広げていく。福知山成美も#20の速攻、3Pなどで最後まであきらめない。最後まで激しいディフェンスから中外バランスの良い攻撃をした京都両洋が95対76で勝利した。